

『巫・占の異相—東アジアにおける巫・占術の多角的研究』

本体予価：3,600円（税込3,960円） 四六版360ページ 2023年8月上旬発売予定



甲骨文から横浜中華街まで。東アジアにおける「巫」「占」の諸相を、十一人の専門家が論じる。日文研での共同研究会の成果論集。

「巫術」「占術」は「人類普遍の営み」である。

中国殷代の甲骨文から始まり、古代・中世の日本列島や琉球、朝鮮のさまざまな占いや巫術を経て、現代の沖縄・横浜中華街の占いに至る十一篇の論考により、日本列島を軸とした占術と巫術の空間的・歴史的な展開が多面的に浮かび上がる。

目次

第1章 古代中国の占術と巫術

- 殷墟卜辞と商の王権
- 巫・靈・鑿・筮

第2章 古代日本の占いとその周辺

- 陰陽道の祭祀、百怪祭をめぐって
- 日本古代の憑依託宣とト占
- 折狩考—古代日本の占いと動物—

第3章 占術・相術・信仰の受容と展開

- 日本中世初期の都市構造と気脈や地勢を重視する風水思想との関わり
- 大雑書の易をめぐる書林の動き
- 琉球の『観音靈籤』

第4章 占いと巫術の現在

- 沖縄シヤーマニズムにおける巫術・占術の変容と展開
- 横浜中華街における占い店舗の集積と占いの受容
- 東アジア三国における『靈棋経』の存在様

著者一覧（掲載順）

第1章

小南一郎／大形徹

第2章

山下克明／上野勝之／平林章仁

第3章

豊田裕章／奈良場勝／山里純一

第4章

塩月亮子／中町泰子／吉村美香

注文扱い（返品条件付き・志学社）にて搬入します。

もしも返品して取次から逆送されてしまった場合は、恐れ入りますが「八木書店（志学社長）了解」とお書きのうえ、再度ご返品下さい。（3冊以上返品される場合は事前にご一報ください）

番線印	注文冊数
2023年8月上旬発売予定 注文扱い ※取次様からの見計らい配本はございません。 『巫・占の異相—東アジアにおける巫・占術の多角的研究』 ISBN:978-4-909868-10-7 C3014 予価：本体3,600円（税込3,960円） ※本書は復刊ではなく、完全に新規の内容となります。	
※八木書店経由で出荷。 トーハン・日販・楽天等 主要取次番線ご注文可能。	